

第2回学校運営協議会議事録

1 日 時 令和4年10月22日(土)

2 内 容

(1) さいたま市学習状況調査の結果をふりかえって

記述問題を地道に解いている。文章で解く問題は苦手なので、教員側の工夫が必要。新聞を読んでいる生徒が少ない。→昇降口にその日の新聞を掲示。

- ・新聞の文章の構成から学ぶことも多い。
- ・新聞を授業に採り入れる。
- ・新聞記事の書き写し等の活動を採り入れてもよい。
- ・学校に掲示することによって、どの面にどのような記事が載っているかがわかる。
- ・テキストがデジタル化していく流れの中でも、新聞は自分に興味のない記事を読む機会を与えてくれる。
- ・新聞記事が入試に出題されていることもあるので、新聞を読むことは入試対策にもなる。

(2) 生活について

- ・PCで不登校の生徒への支援を行っている。
- ・生徒がよくあいさつしている。

(3) 今年度の取り組みについて

- ・真福寺貝塚発掘体験は、貴重な体験学習の機会になる。
- ・合唱祭は、子どもたちがやる気になっているのを感じられてうれしい。

(4) 熟議 「川通中学校 防災教育について」

- ・地域と協力：子どもが作ったものを、地域の方に見ていただく。
- ・1年生が手作りの防災マップを作成
 - 防災マップを活用し、危険箇所について考える習慣をつけてほしい。
 - どこに避難所があるか、AEDがどこにあるか、子どもたちに知ってほしい。
 - 防災マップ作りで、自治会の方が講師になることもできる。
- ・災害時は電話が不通になる。
 - 公衆電話の使い方を教える。家庭内でどのように連絡をとるか決めておく。
- ・岩槻消防署と連絡をとり、川通地区消防団に協力をいただく。
- ・授業の一環で学校の防災倉庫を見学し、地域の方が説明する。
- ・出前講座で、煙体験・消火器体験・起震車体験等の体験ブースを設置する。
 - 大人と子どもがともに活動する場面を設ける。全生徒が参加する。